

# 久喜市議会だより

No.17

平成 26 年 5 月 1 日

発行 / 久喜市議会 編集 / 久喜市議会広報委員会 〒346-8501 久喜市下早見 85 の 3 ☎ 0480 (22) 1111 (代)  
 FAX 0480 (21) 6061 [HP] <http://www.city.kuki.lg.jp/section/gikai/gikai.html> [E-mail] [gikai@city.kuki.lg.jp](mailto:gikai@city.kuki.lg.jp)



▲労働会館（あやめ会館）のつるし雛

- ◇ 2 月定例会の概要 ..... (2)
- ◇ 議員名簿 ..... (2)
- ◇ 提出議案とその結果 ..... (3) ~ (4)  
 市長提出 **31** 件、議員提出 **1** 件
- ◇ 平成 26 年度施政方針 ..... (5)
- ◇ 施政方針に対する代表質問 ..... (5) ~ (6)
- ◇ 本会議における討論 ..... (7) ~ (9)
- ◇ 市政に対する一般質問 ..... (10) ~ (17)  
**23** 人が市政を問う！！
- ◇ 各委員会審査状況 ..... (18)
- ◇ 野辺地町議会視察 ..... (19)
- ◇ 意見書他 ..... (20)

## 6月定例会のお知らせ

平成 26 年 6 月定例会は、次の日程で開催される予定です。

月 日	内容	時刻	概 要
5月30日(金)	委員会	午前9時	議会運営委員会
6月6日(金)	本会議	午前9時	開会、所信表明演説、議案上程
6月18日(水)	本会議	午前9時	所信表明に対する代表質問
6月19日(木)	本会議	午前9時	一般質問
6月20日(金)	本会議	午前9時	一般質問
6月23日(月)	本会議	午前9時	一般質問
6月24日(火)	本会議	午前9時	一般質問
6月26日(木)	本会議	午前9時	議案質疑
	委員会	本会議終了後	予算決算常任委員会
6月27日(金)	委員会	午前9時	総務財政市民常任委員会・分科会
6月30日(月)	委員会	午前9時	福祉健康常任委員会・分科会
7月1日(火)	委員会	午前9時	建設上下水道常任委員会・分科会
7月2日(水)	委員会	午前9時	教育環境常任委員会・分科会
7月8日(火)	委員会	午前9時	予算決算常任委員会
	本会議	委員会終了後	討論・採決、閉会

## 2月定例会の概要

会期 2/3(月)～ 3/6(木)

平成 26 年 2 月定例会は、2 月 3 日 (月) から 3 月 6 日 (木) までの 32 日間の会期で開催されました。

市長提出議案は、「平成 26 年度久喜市一般会計予算について」、「平成 26 年度久喜市国民健康保険特別会計予算について」、「平成 26 年度久喜市水道事業会計予算について」をはじめ、合計 31 件がすべて原案どおり可決・同意されました。また、議員提出議案 1 件が否決となりました。

## 議員名簿

議席No.	氏名	(会派)	常任委員会 (◎委員長, ○副委員長)	
1	渡辺 昌代	(共産党)	予算決算	福祉健康
2	石田 利春	(共産党)	予算決算	建設上下水道
3	木村 奉憲	(共産党)	予算決算	総務財政市民
4	杉野 修	(共産党)	予算決算	教育環境
5	梅田 修一	(飛翔)	予算決算	建設上下水道 ○
6	井上 忠昭	(飛翔)	予算決算	総務財政市民
7	大谷 和子	(飛翔)	予算決算	教育環境 ◎
	—			
9	園部 茂雄	(政策会議)	予算決算 ○	建設上下水道
10	春山 千明	(政策会議)	予算決算	教育環境 ○
11	猪股 和雄	(市民の政治)	予算決算	福祉健康
12	田村 栄子	(市民の政治)	予算決算	福祉健康
13	齋藤 広子	(公明党)	予算決算	福祉健康
	—			
15	矢崎 康	(公明党)	予算決算	福祉健康 ◎
16	鈴木 精一	(飛翔)	予算決算	総務財政市民 ◎
17	並木 隆一	(飛翔)	予算決算	建設上下水道
18	鈴木 松蔵	(飛翔)	予算決算	教育環境
19	盛永 圭子	(飛翔)	予算決算	福祉健康 ○
20	柿沼 繁男	(飛翔)	予算決算	教育環境
21	富澤 孝至	(政策会議)	予算決算	建設上下水道 ◎
22	石川 忠義	(政策会議)	予算決算	教育環境
23	新井 勝行	(政策会議)	予算決算	総務財政市民
24	内田 正	(政策会議)	予算決算	総務財政市民
25	岡崎 克巳	(公明党)	予算決算	建設上下水道
26	足立 清	(公明党)	予算決算	総務財政市民 ○
27	戸ヶ崎 博	(公明党)	予算決算	教育環境
28	松村 茂夫	(飛翔)	予算決算	総務財政市民
29	青木 信男	(飛翔)	予算決算	教育環境
30	宮崎 利造	(飛翔)	予算決算	建設上下水道
31	大鹿 良夫	(飛翔)	予算決算 ◎	福祉健康
32	山田 達雄	(飛翔)	予算決算	総務財政市民
33	岸 輝美	(飛翔)	—	福祉健康
34	鎌田 忠保	(飛翔)	—	建設上下水道

# 提出議案とその結果

※付託委員会

(予) 予算決算常任委員会

(総) 総務財政市民常任委員会

(福) 福祉健康常任委員会

(議) 議会運営委員会

(建) 建設上下水道常任委員会

(教) 教育環境常任委員会

○…賛成 ×…反対 ▲…退席

飛翔…飛翔 政策…政策会議 公明…公明党久喜市議会議員団

共産…日本共産党久喜市議団

市民…市民の政治を進める会

## ○ 2月定例会（市長提出議案）

議案番号	件名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	市民	
議案第1号	平成25年度久喜市一般会計補正予算（第5号）について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第2号	平成25年度久喜市一般会計補正予算（第6号）について（予）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第3号	平成25年度久喜市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について（福）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第4号	平成25年度久喜市介護保険特別会計補正予算（第3号）について（福）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第5号	平成25年度久喜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について（福）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	平成25年度久喜市下水道事業特別会計補正予算（第3号）について（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第7号	平成25年度久喜市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）について（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第8号	平成25年度久喜市土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）について（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第9号	平成26年度久喜市一般会計予算について（予）	○	○	○	×	○	原案可決
	平成26年度久喜市一般会計予算に対する修正案	×	×	×	○	×	否決
議案第10号	平成26年度久喜市国民健康保険特別会計予算について（福）	○	○	○	×	○	原案可決
	平成26年度久喜市国民健康保険特別会計予算に対する修正案	×	×	×	○	×	否決
議案第11号	平成26年度久喜市介護保険特別会計予算について（福）	○	○	○	×	○	原案可決
	平成26年度久喜市介護保険特別会計予算に対する修正案	×	×	×	○	×	否決
議案第12号	平成26年度久喜市後期高齢者医療特別会計予算について（福）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第13号	平成26年度久喜市下水道事業特別会計予算について（建）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第14号	平成26年度久喜市農業集落排水事業特別会計予算について（建）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第15号	平成26年度久喜市土地区画整理事業特別会計予算について（建）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第16号	平成26年度久喜市土地取得特別会計予算について（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号	平成26年度久喜市水道事業会計予算について（建）	○	○	○	×	○	原案可決
	平成26年度久喜市水道事業会計予算に対する修正案	×	×	×	○	×	否決



## 平成26年度施政方針

2月定例会初日に、田中市長が市政運営ならびに予算編成の基本方針演説を行い、その演説に対し、各会派から2月11日に代表質問が行われました。その概要について掲載します。なお、演説の全文は、久喜市ホームページに掲載されています。

### 平成26年度 市政運営の基本方針

本市においては合併5周年という節目の年を迎える。合併の大きな課題である一体感の醸成を一層推進することで、本市の将来像である「豊かな未来を創造する個性輝く文化田園都市」の実現に向けた飛躍の年にしてまいりたいと考えている。

### 平成26年度 予算編成の基本方針

平成26年度当初予算案は、「久喜市総合振興計画」のもと、更なる一体性の確立を図り、均衡ある発展を進めていくための予算である。合併によるスケールメリットを追求し、市が真に担うべき業務を「選択」し、財源や人材をこれらに「集中」していくことを基本として予算編成に臨んだところである。



市政方針を語る田中暄二市長

## 平成26年度施政方針に対する代表質問

### 飛翔

#### 盛永圭子 議員



#### 久喜市のビジョンについて 他 36 項目中抜粋

問 新市の礎は構築できたので今後さらなる発展・成長のために道筋をつけたいと述べているが、久喜市のさらなる発展・成長の内容として具体的にどのようなビジョンをもっておられるか伺う。

答 久喜市総合振興計画に定めた将来像を実現するための実施計画を毎年度策定して本市のさらなる発展を目指す。

問 地震・台風・ゲリラ豪雨・竜巻・降ひょうなどの自然災害への対策、治水対策などの強化をどのように

図るのか伺う。

答 地震や風水害などの自然災害への対策については、市民の皆様に避難所や避難をする際の注意点など基本的な知識を持つよう、ホームページや広報紙において情報提供している。治水対策については、道路や水路の補修、河川の浚渫<sup>しゅんせつ</sup>などを実施している。今後関係機関と連携を図りながら取り組んでまいりたい。

問 生活道路における「ゾーン30」の推進は歩行者や自転車の安全のため実施すべきと思う。交通の多い通学路に対しても実施すべきと思うがお考えは。

答 本市ではすでに栗橋地区、鷲宮地区では開始されている。平成26年度には久喜地区、平成27年度には菖蒲地区で開始される予定となっている。



### 政策会議

#### 石川忠義 議員



#### 猛暑対策として小中学校にエアコンの設置を 他

問 市有財産の有効活用や有料広告の一層の充実など行い財源確保をすべきだが。

答 補正予算や決算の段階では、新たな財源の創出や予算額を上回る歳入の確保に努める。

問 豊かな自然を守るために、緑の基本計画では湿地や水辺も対象にすべきであるが。

答 湿地は、動植物に生息地を与えるほか、洪水防止など多くの役割があるので、同計画に盛り込んでいく。

問 夏の猛暑で、子供の健康や学習に影響がある。昨

年の議会では、小中学校教室へのエアコン設置に意欲ある答弁があった。今後、どのようにすすめるのか。

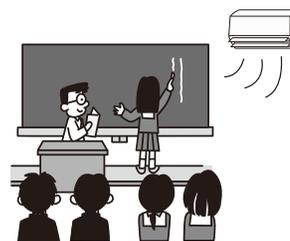
答 26年度に詳細調査をして、実施にむけて検討する。

問 小中学校のプールについて、26年度当初予算に予定がないが、改修が必要なプールは対応すべきだが。

答 平成26年度に大規模改修の予定がない学校については、プール学習に支障がないよう修繕などを行い、適正な維持管理に努める。

問 市内にある東京理科大学久喜キャンパスの縮小化計画が大学から公表されている。市は縮小化後の計画について積極的に関与すべきだが。

答 定期的な協議の場で、早期に将来展望を示すよう強く要望していく。



公明党久喜市議会議員団



齋藤 広子 議員

子育て環境日本一を目指すプロジェクトの発足を

問 好条件と環境を生かし、若い方々に久喜市は住みやすく子育てしやすい街であることなど「子ども・子育て支援事業計画」の策定に当たって子育て環境日本一を目指すプロジェクトの発足を、日本一の子育て環境づくりの計画を立てて取り組まれてはどうか伺う。

答 本市独自の子育て支援施策についても検討をするため、関係部署 18 課で構成する久喜市子ども・子育て支援庁内推進会議を設置。今後は庁内各課へ子育て支援施策について意見を募り、本市独自の子育て支援

施策を検討するとともに、久喜市児童福祉審議会及び庁内推進会議における審議を重ね、よりよい子育て環境を整備する事業計画を策定したいと考えている。

デマンド交通を久喜市全域へ

問 高齢者、障がい者、交通弱者のことを考えると、今回検証し、久喜市全地域に自宅から目的地へドア・ツー・ドアを目指して検討できるか伺う。

答 デマンド交通の区域の見直し等につきましては、今後アンケート等を実施し、利用者等のニーズを把握するとともに、本市の地域の特性を勘案しながら、久喜市地域公共交通会議の中で検討していく。



その他の質問

◇他 31 項目

日本共産党久喜市議団



杉野 修 議員

国の増税の嵐から市民の暮らしを守るのが市の責務

問 4 月からの消費税増税による市民への影響は、総務省の家計調査でも、約 36 億円に上る（年間負担増 5 万 8,000 円×6 万 2,000 世帯の計算）。また、高齢者の医療費増、年金引き下げも嵐のようである。市はこの嵐から市民の暮らしをしっかりと守るべきであるがどうか。

答 年金の引き下げは、3 億 8000 万円の影響とみている。また、企業の収益が賃金や所得向上につながり、地域の経済活性化へと好循環になるよう市長会を通じて国に働き掛ける。

問 市民の多くが「合併して良いこと（住所が短くなったこと以外）は何もない」という。合併の検証を行うべきであるが。

答 均衡あるまちづくりが進み、市民のみなさんから一定の評価をいただいているものと考えている。

問 合併してから人口が減少している。子ども医療費を高校卒業まで無料化するなど、子育て支援などを充実させ、若者が「住みたくくなるような」「埼玉一子育てしやすい街」をめざせ。

答 子育てしやすい街が、直接人口動態に影響を及ぼすとは考えていない。

問 市内のブラック企業の実態調査を求める。

答 安心して働けるまちの実現に努める。



市民の政治を進める会



猪股 和雄 議員

田中市長の多選批判についての見解を問う

問 田中市長は現在 5 期目であるが、職員が市長に対して追従的になっていたり、新たな発想や政策を取り入れようとする意識が薄いのではないかと、行政の現状維持指向やマンネリ化など、市長多選の弊害が出ているとの批判がある。市長の認識と見解を問う。

答 多選批判は当たらないと考えるが、弊害が全くないとは言いきれないことがあるかもしれない。職員の積極的取組みを期待している。財政や公平公正の観点で事業の取捨選択も必要なことを理解して頂きたい。

人口減少社会にどう対応するか

問 久喜市の人口が減少に転じつつある中で、市長は人口増をめざすのか、子どもの数が減少していく中で、安心して子育てしていける社会をめざすのか。

答 基本的には人口増をめざしつつ、人口減少をも見込んだ子育て環境の整備も図っていく必要がある。

問 人口と財政の縮小が避けられない中で、公共施設の新増設はしない、集約化、統廃合を進め、重点を維持管理に転換していく必要があるのではないかと。

答 公共施設の更新費用の抑制や施設の総量規制、削減など、縮小の方向にあると認識している。

その他の質問 放射能汚染対策、障害者差別解消法の取組み、衛生組合のごみ焼却炉更新と計画見直し、など。



# 本会議における討論

2月の定例会の最終日には、議案7件に対し、延べ23人の議員が討論を行いました。討論とは、議案等に対して表決の前段階において賛成又は反対の意を延べるとをいいます。その概要を紹介します。

## 議案第9号 平成26年度久喜市一般会計予算について

### 反対 杉野 修 議員 (日本共産党久喜市議団)

平成26年度予算は、4月からの消費税増税の嵐から、市民生活をいかに守るかが問われており、私たちは、子ども医療費助成拡大をはじめ、若者定住支援策の新設や、住宅リフォーム助成制度の創設で地域振興策を訴えた。また、就学援助の対象拡大での支援策強化も提案した。しかし、行政は、この市民の願いに後ろ向きの姿勢を貫き、反対する。

### 賛成 柿沼 繁男 議員 (飛翔)

平成26年度の一般会計予算は、総額465億2700万円、前年度比2.1%の増となった。この予算は様々な施策に積極的に取り組んだ予算であり、特に「久喜市総合振興計画」の基本理念に基づく事業などは高く評価する。今後厳しさを増す財政状況を考え、行財政改革をさらに推進し、安定した行財政運営が行われることを願い、本案に賛成する。

### 賛成 戸ヶ崎 博 議員 (公明党久喜市議会議員団)

予算編成に当たって「選択と集中」を掲げ取り組まれたことは高く評価する。子育て日本一、介護予防日本一を目指して取り組まれた。また、一体感醸成のため都市計画道路の早期完成を望む。全小中学校で実施される新3学期制が子どもたちにとって良かったといえる学期に。合併5周年の未来が開ける予算と評価し賛成する。

### 賛成 猪股 和雄 議員 (市民の政治を進める会)

①予算編成過程の公開の推進、②大型公共事業が財政圧迫要因にならないよう注視すべき、③人口減少社会へ向かう中で、公共施設の整理・統廃合などの管理計画の策定と公表、④公共施設への太陽光発電システム設置の推進、⑤学校給食の自校調理方式化の推進、⑥市政運営を現状維持指向に陥らないよう、職員研修の拡充などを要望して賛成する。

### 賛成 春山 千明 議員 (政策会議)

平成26年度当初予算は市税収入面において伸びが見込まれたが、歳出の面では全体的に抑える努力が伺える予算編成となっている。その中において子育て支援に関する施策に対してなどつけるところにはしっかりつけるという姿勢がみえる。歳出における新規事業でも保育環境や教育環境の充実に努める内容となっており賛成する。

### 賛成 石川 忠義 議員 (政策会議)

質疑の結果、県東北部の拠点都市となるべく久喜市の一体性を確保するための予算であることを理解した。また、税の公平性の観点から収納率の向上、公債権の徴収率向上に向けた取組みを強化することも理解できた。反対する会派は、子ども達を夏の猛暑から守るため、教室のエアコン設置を前提とした詳細調査を含む本案に反対すべきでない。

## 議案第9号 平成26年度久喜市一般会計予算に対する修正案

### 反対 山田 達雄 議員 (飛翔)

久喜市の財政展望については、合併算定替えの経過措置により普通交付税が段階的に減額されることが明白となっている状況の中で、特別会計への繰り出し金の減額措置など、行財政改革は喫緊の課題と捉えている。臨時急施を要する費用とした財政調整基金の安易な取り崩しを原資とする当該一般会計修正議案については反対の意思を明確にする。

### 反対 岡崎 克巳 議員 (公明党久喜市議会議員団)

修正案の根拠となっているアンケート内容が客観性に欠ける。調査が行われておらず、方針、計画、目標が曖昧である。国保では収支のアンバランスに拍車をかけ、大幅な税率改正につながり、市民に混乱を与える。介護特会は、法令違反の内容だ。予算の修正案で法令違反の内容を含んだものを議会に提出したことが信じられず、修正案に反対する。

**反対****石川 忠義 議員 (政策会議)**

質疑への答弁では、提案者が修正案提案に至る背景とした、日本共産党久喜市議団が実施したアンケートに恣意性があることを認めた。これまで3年間も予算修正案を提案しなかったのに、改選前、このタイミングで提案してきたことが理解できない。引き下げや減額と言うばかりで、ポリシーなきバラマキの修正案に反対する。

**議案  
第10号****平成 26 年度久喜市国民健康  
保険特別会計予算について****反対****渡辺 昌代 議員 (日本共産党久喜市議団)**

市民は高い国保税の引き下げを要求している。保険税の統一の時に医療費の伸び率を7.0%に見て、一般会計からのその他繰入金と保険税率を決めた。そして、H24・25年は医療費の伸びは抑えられ、H24年度は10億円超の剰余金を出した。ならば、引き下げができるはずなのに、市は一般会計その他繰入金だけ減らした。市民の声に答えるべきである。

**賛成****盛永 圭子 議員 (飛翔)**

国保の給付費は過去4年間、毎年平均で5%増加している。負担者からの財源をもとに増え続ける医療費を、健全で安定的な運営を図ることが重要である。市は収入の確保と支出の抑制を図り、市民は自分の健康は自分で守るため、疾病予防事業等を活用することにより、市民の健康と国保制度が健全に維持されるものと思う。

**議案  
第10号****平成 26 年度久喜市国民健康保険  
特別会計予算に対する修正案****反対****大鹿 良夫 議員 (飛翔)**

平成26年度久喜市国民健康保険特別会計予算に対する修正案について、反対の立場で討論する。本修正案で保険給付費支払基金から2億円を取り崩すことは、基金の水準を下まわり新型インフルエンザ流行など予測不可能な事態に対応できなくなる。さらに、国保税の収納は減り、保険給付費は年5%程度伸びており、国保税を下げることは難しい。

**反対****石川 忠義 議員 (政策会議)**

日本共産党久喜市議団は、修正案を提案した理由は、国保税を負担できない人ができるように引き下げるとした。しかし、引き下げれば収納率が上がり歳入増加になるはずだが、これが修正案には含まれていない。引き下げることだけを目的化したかのような都合の良い修正案に反対する。

**議案  
第11号****平成 26 年度久喜市介護保険  
特別会計予算について****反対****渡辺 昌代 議員 (日本共産党久喜市議団)**

国の介護会計の負担率は25%であり、その内5%は調整交付金として財政力に合わせて自治体により削減されている。久喜市は0.56%であり、第1号被保険者に負担させていることは大問題である。また、生活援助サービスの時間削減は、利用者、事業所に対応の苦勞がうかがえる。さらに今後要支援者1、2の介護保険は必ずしもすべきではない。

**議案  
第11号****平成 26 年度久喜市介護保険特別  
会計予算に対する修正案について****反対****盛永 圭子 議員 (飛翔)**

このたびの修正案は、一般会計繰入金を3億5千万円増額し、介護保険料を同額、減額しようとするものである。修正後の市の負担割合は約16.96%となり、市の負担割合として定められている12.5%を超える繰り入れとなる。社会保障制度における法令の遵守は基本であり、これを逸脱した修正案を認めることはできない。

**議案  
第12号****平成 26 年度久喜市後期高齢者  
医療特別会計予算について****反対****木村 奉憲 議員 (日本共産党久喜市議団)**

歳入歳出予算総額は13億8000万円。高齢化が進み2.8%増となり、滞納者は223人にも及んでいる。県連合会の保険料は年平均7万5,236円で全国でも7番目の高さ。県連合会では財政安定化基金等を活用し、負担を低く抑えると明言したが実現できず、高齢者にとって一段と生活が厳しくなるのは必至。よって本案に反対する。

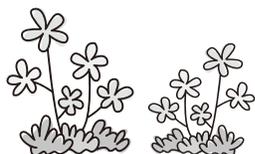
**議案 第13号** 平成26年度久喜市下水道事業特別会計予算について

**反対** 石田 利春 議員 (日本共産党久喜市議団)

平成26年度予算には、消費税増税分として3690万円が含まれ市民への負担増となる。また、本年度予算には「地方公営企業法適用移行事業」の費用として2263万円計上されている。下水道事業は一般会計からの繰入なくして成り立たない事業。地方公営企業に移行することにより「赤字」が強調され市民への負担増が懸念され問題があると考えます。

**賛成** 鈴木 松蔵 議員 (飛翔)

市長・議員の任期に当たり整備の方針を示すべき良い機会である。整備時の時差がありすぎ不公平感がある。請願が採択されている。未整備地区では衛生的でなく、営農意欲が低下するなど、環境行政からも整備が求められている。本予算は十分でないが、積極的な整備を求め、賛成する。



**議案 第17号** 平成26年度久喜市水道事業会計予算について

**反対** 石田 利春 議員 (日本共産党久喜市議団)

平成26年度予算には、消費税増税分として9855万円が含まれ市民への負担増となる。また、平成25年度の現金預金残高は42億9027万円になると示された。このような財政状況が継続されたら引き下げを検討しますかとの間に「検討しない」との答弁がなされた。水道供給の安心安全のみでなく、市民の暮らしそのものの安心安全を忘れてはならない。

**賛成** 宮崎 利造 議員 (飛翔)

水道の使命は、公衆衛生の向上という観点のみならず、市民の生活や都市機能を維持することである。平成26年度久喜市水道事業会計予算について、久喜市水道ビジョン等の計画に基づき、必要な事業費が計上されたことと理解する。今後も、安心・安全な水を安定的に供給するため、計画的に取り組んでいただくよう強く要望し、賛成する。

**議案 第17号** 平成26年度久喜市水道事業会計予算に対する修正案

**反対** 並木 隆一 議員 (飛翔)

将来の給水人口の減少、節水意識の高まりにより、水道事業収益の増加は見込めない。基幹管路の耐震化、老朽施設の更新資金を安定的に確保していかなければならない。水道事業は、もっとも重要なライフラインの一つであり、今後も安心安全な水道を安定供給する責務をおっており、安易に水道使用料金を削減する修正案には反対する。

**意見 第1号** 特定秘密保護法の廃止を求める意見書

**反対** 石川 忠義 議員 (政策会議)

特定秘密保護法は、テロや緊迫する国際情勢にあつて、関係国と質の高い情報を得て国家、国民の安全を守るためのルールである。いたづらに不安をおおる内容の本意見書に反対する。

**賛成** 杉野 修 議員 (日本共産党久喜市議団)

この法は、審議時間が極めて短く、事前の公聴会でも反対意見が相次いだ。この法の役割は、日本がアメリカと海外で戦争をできる国にしようとすることに本質がある。国家の持つ情報は国民に知る権利がある。「何が秘密かも秘密」の中で、重い罰則で国民の目や耳、口をふさぐやり方は、憲法に反するものであり、認められない。廃止しかない。



## 市政に対する 一般質問

齋藤 広子 議員

公明党久喜市議会議員団

### 買い物弱者対策について

問 平成 22 年 9 月議会で質問した買い物マップに関しての答弁は、大変有効なもので、市内の商工会や福祉団体と調整を図るとのことであったが、その後の進捗状況について伺う。

答 パンフレットとして今年度中に配布する予定。また、宅配サービス実施店の業種や店舗数の拡大などさらなる内容の充実を図るべく、広報紙や市のホームページにより広く募集してまいりたい。

### 避難所運営ゲーム HUG について

問 自主防災組織などで活用するのが望ましいが、出前講座で導入していくことはできないか伺う。

答 自主防災組織や自治会等への防災に関する出前講座などの際に研修教材として同ゲームの紹介や実際に体験していただきたいと考えている。さらに、防災担当職員や災害時の避難所運営に携わる職員を対象とする研修会でも教材として活用していく。

### 認知症対策について

問 認知症の拡大を考えると市としても独自の推進が必要と思うが如何か。

答 平成 26 年度に認知症のケアパスを作り、それを第 6 期の介護保険事業計画に反映し、その中で様々な実施施策というのを検討し、行っていく。



木村 奉憲 議員

日本共産党久喜市議団

### 「プログラム法」と介護保険制度の改悪について

問 安倍政権による消費税増税と一体的にすすめられている社会保障制度改悪の「プログラム法」により、介護、年金、生活保護など切り捨てが行われようとしている。2000 年に介護保険制度開始で、医療と福祉のはざままで「介護の社会化」「家族の負担の軽減」をめざす目的は失われる一方である。自助・自立の



名の下で自己責任論ばかりが優先され、「保険あってサービスなし」は問題である。最近の具体的な問題では①介護保険の生活援助の時間区分が 60 分から 45 分に短縮された影響はいまだ大きいのでは。②特別養護老人ホームの入所基準が厳しくなり、要介護 1、2 が事実上入所出来なくなることで待機者の居宅サービスなどの実態調査をすべきだ。③特養ホームの待機者を将来どのように改善・解消するのか伺う。

答 ①時間区分の改正により利用時間の変更等はあるものの、改正後においても利用者が真に必要なサービスは提供されている。②待機者は重複があり、延べ 518 人。その中で介護 1、2 は 152 人。次期計画のアンケートで実態も含め検討する。③第 5 期計画では 2 施設、200 床の整備を見込んでいる。待機者が多いため計画外の整備も検討したところ、実施希望の事業者もあったが、県が採用しなかったという実態がある。

田村 栄子 議員

市民の政治を進める会

### 防災問題について

問 災害時、幼稚・保育園児、小中学生の被害を最小限にするには、防災訓練を地域住民と連携して行うことにある。また、中学生の力を役立たせる防災教育のあり方、聴覚障がい者への緊急防災連絡方法や「受援」の整備はできているか。液状化、地震、洪水を含むハザードマップの作成はいつになるか。

答 保育園の訓練は公立、私立とも月 1 回行っている。学校では日時を決めず不意の訓練を行っている。また、小学校 4 校は地域連携を行い、防災マップも地域住民と一緒に作成している。中学生には応急処置のやり方や消火訓練等を取り入れている。聴覚障がい者へはパ

ソコンや携帯電話等による防災メールを配信し、FAX も検討している。「受援」は久喜社協内のボランティアセンターで救援の受付を行い、被災者との調整も行う。防災ハザードマップは 26 年度中に作成予定である。

### 南栗橋地区の近未来図について

問 液状化対策を講じながら南栗橋地区の近未来図を描く必要がある。交通の利便性が大変良く転入者の多かった住宅地の姿を取り戻すためには、まず液状化問題の解決をいかに進めるかである。その点を伺う。

答 実証実験は本年 1 月中に全て終了し、液状化検討委員会で有効な工法を決定し、住民に地域情報を個別具体的に説明を行う予定である。



防災時の備え

内田 正 議員

政策会議

農業の具体的な振興施策について

問 農業は昔から先人たちの努力により食料の生産だけでなく自然環境や防災機能に寄与するなど、かけがえない財産である。しかし近年、社会環境や経済状況の変化から、担い手の減少と従事者の高齢化により耕作放棄地の増加が一段と危惧される現状である。このことから政府は農地集積バンクと称して生産現場の構造改革を進め、更に米の「減反」を廃止し、需



要のある作物を振興し、農地のフル活用を図り、水路や農道など多面的機能の維持のため直接支払いを創設すると発表した。所得倍増を実現する成長産業とするため、市が考える具体的な振興施策について伺う。

答 政府は、農業、農村の所得を今後10年間で倍増させることを目指し、各種施策を打ち出している。農地集積バンクと称される農地中間管理機構については農地の集約化を図るため新設されるものである。また、減反政策を廃止し、麦、大豆、飼料用米等を生産する農業者に交付金を直接交付することにより、水田のフル活用を推進するものである。また農村の水路や農道等の管理の支援策として農地維持支払いが創設される。これらの施策は意欲ある担い手が創意工夫に富んだ農業経営を実現するために環境整備を推進するもので、本市も国の動向を注視しながら取り組んでまいりたい。

春山千明 議員

政策会議

給食費未納問題について

問 久喜市の給食費未納額は、平成22年度に約532万円、23年度に約431万円、24年度に約467万円となっている。就学援助制度等の対象外の方や悪質な未払い者については、市と教育委員会が未納を防ぐ努力が必要。学校や地域の努力では限度があるがいか

か。答 長期滞納者への対応や悪質な滞納者へは教育委員会で対応する。市の徴収部門との連携は、債権にかかわる関係課で組織する庁内連絡会議において、適正な債権管理や効果的、効率的な債権回収などについて必要な研究及び課題の整理を行っている。今後も引き続

き関係課と連携を図っていく。

市道久喜219号線及び久喜1357号線の通学路交通安全対策について

問 市道久喜219号線東谷橋から延長の通学路は30キロの速度規制を設け、市道久喜1357号線には道路鉈を設置するなど何らかの対策をするべきだがいか

か。答 両道路は生活道路でありながら通過車両が多く、交通事故の発生が危惧されるので交通安全対策について久喜警察署及び関係機関と協議したい。

その他の質問 ◇総合運動公園にトイレを設置すべき。◇総合運動公園「自然林」の管理を強化すべき。



東谷橋、昼間はあまり通らない車も朝の登校時は1分間に数10台の車が猛スピードで通行します

石川忠義 議員

政策会議

市は、不納欠損とならないよう努力すべきである。

問 不納欠損とは、市に納める税金や料金などのうち、市が徴収をあきらめる欠損金である。法令により、破産や生活困窮、死亡等により不納欠損となるのはやむを得ないが、資力があるにも係らず、時効消滅によって不納欠損とするのはできるだけ避けるべきである。市には膨大な数の未納金がある



市債権徴収担当窓口

が、できるだけ財産調査をして、公平性の観点から時効消滅とせずに請求を行う必要があるが市の考えを問う。

答 平成25年度は、同年12月末時点での市税の不納欠損は、8369万6,312円、1,763件である。国民健康保険税の不納欠損は、1億7874万2,055円、1,730件である。市税と国保税を合わせた時効消滅者は2,276人、この内の62%の財産調査をした。金融機関の状況もあり調査が進まない現実もあるが、単純時効(5年時効)にならないようにできる限り調査をしていく。今後、全庁的に債権管理の適正化を図り収入未済を減らすとともに、時効による不納欠損の減少に努力をしていく。

その他の質問 ◇栗橋地区の文化財を広く内外にPRすべきであるが。◇下水道未接続地域の解消に努力するべきであるが。◇交通安全対策を積極的に進めるべきであるが。

## 市政に対する 一般質問

矢崎 康 議員

公明党久喜市議会議員団

### シナジス注射の接種病院の拡大について

問 平成 25 年 6 月定例会において、現在市内でシナジス注射を接種できる病院は済生会栗橋病院のみとなっているが、接種できる病院を増やし、身近なかかりつけ病院で他の予防接種と同時に接種できるよう質問した。市としては、済生会栗橋病院以外の市内の医療機関においても対応できないか、久喜市医師会を通じて医療機関にお願いをしてまいりたいとの答弁であったが、その後の経過について伺う。

答 昨年 10 月 21 日に開催された久喜市医師会との意見交換会において、かかりつけの身近な医療機関においても接種ができるように検討をお願いしたところで

ある。医師会側からは、地元の医療機関で希望する場合、課題や条件もあるので、直接医療機関へ個別に相談していただきたいとのことであったので、市民からの問い合わせにはそのようにご案内をしたいと考えている。

問 シナジスの個別対応について、かかりつけ医とよく相談するようホームページで情報発信できるか。

答 医療機関によってはその対応が可能などところと、また非常に難しいところもあるため、ホームページで一律に情報発信が可能ということは考えていない。

**その他の質問** ◇自殺対策基本条例制定について ◇不妊に悩む方々への特定治療支援事業の充実について



梅田 修一 議員

飛 翔

### 消防団の支援と組織維持について

問 久喜市消防団の団員数の増減について、合併後から現在までの推移を伺う。

答 合併以降の各年 4 月 1 日現在の人数は、平成 22 年が 366 人、平成 23 年と平成 24 年が 361 人、平成 25 年が 350 人である。なお、平成 26 年 1 月 1 日現在では 360 人となっている。



市民の生命と財産を守るために日々鍛錬している消防団

問 久喜市消防団の

地域ごとの充足数について伺う。

答 平成 26 年 1 月 1 日現在における支団ごとの数値は、久喜支団は定数 156 人に対し実員数は 143 人で充足率は 91.7%、鷺宮支団については定数 63 人に対し実員数は 55 人で充足率は 87.3%、菖蒲支団については定数 78 人に対し実員数は 65 人で充足率は 83.3%、栗橋支団については定数 93 人に対し実員数は 85 人で充足率は 91.4%である。

問 全国的に消防団応援事業を実施して消防団を支援していく取り組みが広がっている。久喜市でも消防団員を支援する取り組みができないか伺う。

答 全国的には、消防団員やその家族を地域社会で支援する取り組みを実施している自治体もある。今後様々な先進事例を参考にしながら、消防団を支援する事業として有効な方法を調査研究してまいりたいと考えている。

石田 利春 議員

日本共産党久喜市議団

### 水道料金引き下げ、市民の暮らし応援を

問 平成 24 年度水道会計決算で純利益が 7 億円、現金残も 35 億円から 41 億円と増加。平成 25 年度見込み額は。

答 現金残高累計見込み額は、42 億 9027 万円である。

問 料金改定時検討した 10 年間の事業、中期計画と現在の現金残高を比較すると約 10 億円多くある。計画より多い現金残高があると認めるか。

答 計画と実際の数字に差異があると認める。

問 市民が利用している 13mm、20mm 口径の使用料を 10%引き下げる財源にいくらかかるか。

答 引き下げ額に必要な額は 2 億 4650 万円になる。

問 値上げし過ぎたと言える結果が出ている。値上げし過ぎた分は返却するのがものの道理ではないか。

答 現金に差異があるが長期の経営安定をめざしての料金改定で、施設の老朽化もありご理解を。

**要望** 中期計画は老朽化など含めて計画したもので、その計画より現金残がある。年金が減り消費税増税が実施されれば暮らしが一層大変になる。市民の暮らしを応援するため使用料金引き下げの検討をすべき。

**その他の質問** ◇栗橋商店街を明るい街に ◇指定管理となるグラウンド整備を ◇公民館にある体育館、スポーツ少年団の利用を無料に ◇佐間・八甫の道路(680号線)につながる間鎌からの道路整備を



明るい商店街にしてほしい。栗橋八坂神社どおり 2014.03.02 20時撮影

渡辺昌代 議員

日本共産党久喜市議団

国民健康保険税の引き下げを求める

問 国保税は市民の健康と命にかかわる問題である。これまで、国保税が払いきれずに引き下げを望む市民の声を何度も取り上げてきた。すでに滞納世帯は、4,808世帯、滞納世帯率は19.5%である。特に所得200万円の夫・妻45歳・子ども2人の4人家族モデルケースでは、36万6,600円、所得に占める割合は18.3%と払いきれない額ではない。市民の切実な訴え、要求に応えるべきだ。市民



の暮らし、健康や命を守る施策が必要だ。市長の考えを伺う。

答 過年度の影響を除外し、一般会計法定外繰入をはずせば、赤字となる。医療費も増加していく。この状況の中で今後も安定的に制度を運営することが肝要なため、引き下げは考えていない。

問 平成24年度は法定外繰入を7億8000万入れたがこれは県平均並みである。余剰金も10億円出ている。基金は7億円がある。これらを使い引き下げるべきだ。

答 余剰金はやりくりをして最終的に残った2億7300万円を安定運営のために基金に積み立てた。

問 消費税増税分は社会保障にと言ってきた。久喜市は3億円の消費税交付金が増となった。それも使い市長判断で、市民に対する要求、要望に答えるべきだ。

答 安定的な制度運営を考えると引き下げはできない。

杉野 修 議員

日本共産党久喜市議団

わし宮団地の冠水対策は、URと協議して進めよ

問 これまで鷲宮地域の大雨時冠水対策については再三、議会で対策を求めてきたが、わし宮団地の周辺が、とりわけ深刻なので改善を求める。まずは「周辺水路の改修」である。水草が繁茂しており、急ぎ全体的に浚渫が必要ではないか。

答 水路の機能を維持するよう浚渫を行っていく。

問 つぎに「道路のかさ上げ」の手法での改善は。

答 市道とUR都市機構が管理する道路との交差点のかさ上げを行う場合には、団地内道路と市道に接する土地に段差が出るので協議が必要になる。

問 団地内の「遊水池の新設・改修」はどうか。

答 現在、公園になっているところを遊水池にすることは考えていない。

問 冠水する前に「雨水をどこに誘導させるか」「どの方法が最も効果があるか」などを優先して考えることが大事だ。久喜市として、URと冠水対策を前提にした協議をしていただきたいがどうか。

答 URと協議を行ってまいりたい。

その他の質問

◇東鷲宮駅西口駅前広場にトイレ設置など環境整備を。◇被災地支援について



冠水したわし宮団地2街区

戸ヶ崎博 議員

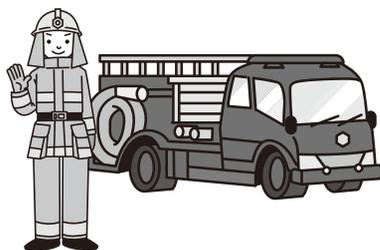
公明党久喜市議会議員団

高齢者世帯における防災対策について 他

問 火災報知機の助成制度はどう進んでいるか。

答 本市においては、市民の誰もが利用できる助成制度はない。生活保護世帯、非課税世帯に属するひとり暮らしの高齢者を対象に日常生活用具購入助成事業を実施している。

その中の一つとして火災警報器を設定している。平成22年度から今までに2件の利用である。



問 4年で利用が2件ということは、制度がある状況ではないと思う。ひとり暮らしの高齢者の方に範囲を広げて助成できないか。

答 そこまで広げられるか検討させて頂きたい。

問 消防団員の役割は火災予防の面からも重要である。消防団員の増員の取り組みは。

答 広報紙、ホームページへの募集案内、成人式における勧誘チラシの配布などPRに努める他、今後は団員の活動レポートをホームページに掲載する。

デマンドバス運行について

問 これからさらに市民に利用されるデマンドバスを目指すべきと考える。今後の取り組みは。

答 運行開始4か月が経過、距離に関係なく安い料金で利用でき、助かるといった声も寄せられている。デマンド交通に愛称をつけ利用向上につなげる。また、利用者等のニーズを把握し全体の改善を図る。

## 市政に対する 一般質問

鈴木松蔵 議員

飛 翔

### 久喜市が一体化するための道路整備の状況について

問 道路整備について、久喜市が一体化するための道路整備の状況について伺う。久喜市が一体化するための道路整備については私の望むところである。西堀・北中曽根線の一部ということになると思うが、旧菖蒲高校部分の一部が整備された。この先、県道北根・菖蒲線について、市においては、県に要望を行っているとのことであるが、その内容は、また拡幅整備の見通しについて伺う。

答 県道北根・菖蒲線については、しょうぶ会館前の交差点付近を中心に、埼玉県杉戸県土整備事務所が事業主体となり、整備を進めてきた。しかしながら、こ

の交差点において、一部用地買収が済んでいない箇所が残っている状況がある。一方、市が進めていた都市計画道路物見塚・西堀線については、昨年7月に完了したところである。そのようなことから、当該交差点については、現在暫定形での供用となっているところである。これまで市としては、この交差点を一日も早く整備していただくよう杉戸県土整備事務所に対し要望してきた。今後も、当該交差点の拡幅整備ができるだけ早く実施できるように、引き続き杉戸県土整備事務所に対し要望してまいりたいと考えている。



県道北根菖蒲線の現状

鈴木精一 議員

飛 翔

### 高速交通網を活かすために

問 圏央道の開通まで1年と少しに迫る中、これを活かす方策として本市を中核とした交通のハブ化を進めるべきである。

成田・羽田空港行きバス路線の新設、長距離高速バスの新路線、更にターミナル化も進めるべきでは。



首都圏中央連絡自動車道(圏央道)

答 圏央道は、桶川北本ICから白岡菖蒲IC、久喜白岡JCから境古河ICまで平成26年度が完成予定で、埼玉区間の全線開通が見込まれる。バス事業者6社に伺ったところ、羽田空港、成田空港行は1社が前向きな回答。長距離高速バス新路線も検討中とした。また、本市を中核とした交通のハブ化、バスターミナル化は重要なことと認識しており調査研究していく。

問 久喜IC周辺には未利用地がある。これを活かすべきであるが。

答 バスターミナルに関しては、インターチェンジ周辺の未利用地活用が考えられる。広く調査研究をしていく。

問 菖蒲のパーキングエリアに高速バスのバス停設置を進めてはどうか。

答 バス事業者は久喜市の交通網の優位性に着目し非常に興味を持っている。菖蒲パーキングエリア内に高速バスのバス停設置については、多角的に検討していく。

猪股和雄 議員

市民の政治を進める会

### 脱原発依存・持続可能な社会を作るために

問 3・11福島第1原発事故以降、これまで小中学校などでの放射線量測定や給食食材の検査を行ってきたが、新年度にも継続していくことを確認されたい。

答 これまでの測定や検査態勢を続けていきたい。

問 公共施設への太陽光発電システムの設置を推進するべきである。公共施設の屋根を民間に貸して減価償却終了後に市に移管する民間資金の活用を提案する。

答 設置可能な公共施設は12施設ある。施設の更新や大規模改修などの際に可能な限り設置していく。民間資金の導入は、売電価格の引き下げやメンテナンス、撤去費用などの課題もあり、調査研究していきたい。

### 駅前広場などの喫煙所を完全分煙とすべき

問 久喜市役所と久喜駅前広場の喫煙場所に建物と排煙浄化装置を設置して完全分煙を進めるよう求める。受動喫煙の防止と、喫煙者の理解も得られると思うが。

答 現状のままをしたい。他市の例も調査研究したい。

### ひとり親家庭に寡婦控除の見なし適用を

問 保育料の算定で、未婚や非婚のひとり親家庭にも寡婦控除の見なし適用をするべきだがいかがか。

答 新年度の算定から見なし適用を実施していく。

【その他の質問】 ◇車道の横断歩道に視覚障害者誘導標示の設置を。◇市営釣場の運営改善、放流量の増加を。



久喜駅東口大通りに、視覚障害者誘導標示(エスコートゾーン)が設置された

岡崎克巳 議員

公明党久喜市議会議員団

国外犯罪被害者見舞金制度の創設について

問 市も国外犯罪被害者への支援を検討すべきである。国外犯罪被害者への見舞金の条例化について伺う。

答 国は海外で犯罪に巻き込まれた日本人の遺族への経済的支援制度を創設する方向で検討を始めたとのことである。市としては国の動向を注視してまいりたい。

自転車通行の取り組みについて

問 昨年、道路交通法が改正を



され、道路における自転車の左側通行の厳格化が示された。市として、法改正の周知及び交通安全教育についてどう取り組むのか伺う。

答 市では、自転車に関する主な改正点について、ホームページや広報で周知し、昨年12月には大型商業施設や駅周辺などにおいてチラシの配布など啓発活動を行った。今後も警察署等の関係機関と連携し、各小中学校での安全教室や、街頭啓発等で積極的に周知を図り、交通安全対策を進めていきたい。

問 幹線道路における自転車道の整備と歩道のない路側帯の道路標示の考え方について伺う。

答 市内では、県道六万部・久喜停車場線、都市計画道路西停車場線において路面を青色で標示された自転車通行帯が設置をされている。今後、警察や県等と協議をしながら、自転車通行帯の整備や外側線の設置など、自転車の安全通行について検討してまいりたい。

大谷和子 議員

飛翔

潜在的待機児童について

問 待機児童について、発表されている数字はゼロだからといって復職や就職を諦めている人もゼロではないのではないか。久喜市ではどのような数え方をしているか。今年度の待機児童の推移状況は。

答 待機児童の対象としない内容は、保護者が求職中であるが、本市の入所要件に該当しない、他に入所可能な保育所があるが、特定の保育所を希望している、など5項目あり、該当する方を除き、毎年4月1日時点と10月1日時点の年2回待機児童の集計を行っている。今年度は4月1日時点では本市の待機児童数はゼロ。10月1日時点では33人となっている。

問 例えば鷲宮地区の保育園に入所出来ないが、菖蒲地区なら入所できる場合などは待機児童ではないのか。

答 他に入所可能な保育所があるにもかかわらず、特定の保育所を希望している場合、待機児童とされない。市町村が指定した立地条件は、大体自宅から20分から30分程度であれば登園できると考えている。

問 安心して産み育てることと働くことが矛盾なくできる社会が理想。潜在的待機児童の把握に努めるべき。

答 保育所へ入所申し込みをしているが、認可保育所に入所できなかった児童が潜在的待機児童数と考え、本年度4月1日時点で82人。10月1日時点では167人。



希望の保育園に入りたいが…

並木隆一 議員

飛翔

学校給食問題について、教育委員会の姿勢を問う

問 教育委員会では学校給食の今後の有様について、学校給食審議会に諮問している。教育予算の枠のなかで、一番多額の税金を使っている学校給食について、この3年間、内部評価つまり行政評価による事務事業評価を実施していないのはなぜか。

答 現在、学校給食の運営方針について検討中であり、事務



自校方式の調理の様子(栗橋小学校)

事業評価の対象としていない。

問 方式の違う給食の1食当たりの経費を客観的、相対的に比較する必要がある。栗橋地区小学校の自校調理方式の1食当たりの経費を、教育委員会では大枠でも把握できないのはなぜか。

答 栗橋地区の小学校については、光熱水費及び燃料費が学校全体で算出しており、学校給食費にかかる経費を確定できない。減価償却費も把握できない。

問 昨年7月に執り行われた栗橋南小学校の竣工式において、保護者代表が謝辞のなかで、新北校舎の完成の御礼を述べながら、学校給食が鷲宮学校給食センターから暫定のままの配食であり、自校調理方式に戻すよう訴えていた。教育委員会には、地域住民、保護者、子ども達の思いが伝わらないのか。

答 栗橋南小学校を含め、学校給食の運営方法をどうするかは、学校給食審議会に諮問している。

## 市政に対する 一般質問

園部茂雄 議員

政策会議

### 公認グラウンドゴルフコース建設について

グラウンドゴルフ人口が年々急増、場所確保に苦慮している状況もあり、多目的広場も2面に分けて利用者の声に応じている。埼玉県内には公認グラウンドゴルフコースが1つしかなく、県内で2つ目の公認グラウンドゴルフコースを久喜市に整備すれば、市の魅力の創造（シティプロモーション）と高齢者の健康増進として、一つの目玉施設となることから以下の点について伺う。

問 市内のグラウンドゴルフ人口を市はどのように把握しているか伺う、また、総合グラウンドの隣接地を借り上げ公園にして公認グラウンドゴルフコースを整

備すれば交通の利便性も活かされ、県内外からの流入人口も見込まれる施設となるが如何か伺う。

答 体育協会と高齢者大学の各団体合計47団体、750名、団体加盟していない個人等は把握していない。菖蒲老人福祉センター内にグラウンドゴルフ専用コースを開設、これまでも多目的に利用できる施設の整備を進めてきた。今後も競技人口の動向なども注視し、公認コースについても研究していく。

### その他の質問

◇救急搬送の継続的な検証について ◇久喜中央3丁目冠水対策について ◇田園と都市が織り成す美しい景観づくりについて



千畑大台野広場グラウンドゴルフ場  
(秋田県仙北郡美郷町)

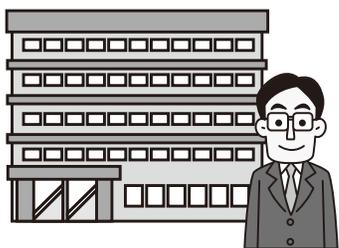
松村茂夫 議員

飛翔

### 3地区を元気にする為、1億円出してはどうか

問 市長は分権で権限と財源を地方に与え、国県に訴えて来た。3地区にも同様に、総合支所長の裁量に1億円を委ねてはどうか。

答 具体的な用途を明示しない形で予算書に計上することは、適切なものではない。地区を元気にするイメージとして、総合支所長を中心として地域の方々々と色々な話し合いをしてほしいと考



えている。地域の方々の意見も拝聴しながら進めなければならない。

問 民生費は年々増加しているが、受ける側の意識が大切である。福祉は種まきであり、育成でもある。これがメリハリと力のある福祉であると思うが。

答 大切なことは職員の取り組む姿勢である。サービスを受ける側の方たちを取り巻く問題や課題、その思いなどを真摯に受けとめ、真に必要なサービスを提供することが大切であると考えている。

問 久喜市社会福祉協議会にはみごとに職員が多いがどう評価しどう活かすのか。

答 社会福祉協議会の職員は、支援を必要としている方に、最善のサービスは何かという視点で対応をしている。これを市役所に活かすというと、範囲が極端に違うので、時間がかかるが、姿勢や考え方は社協の良さを十分に活かすよう取り組んでいきたい。

宮崎利造 議員

飛翔

### 公有財産（普通財産）の管理状況について 他

問 普通財産の適正管理、利活用の現状と売却処分についての市の考え方を伺う。

答 普通財産の未利用地について、将来的に公共用地として活用が見込みのない土地については、一般公募による売り払い等を行っている。

問 法定外道路の管理状況と処分（売却）についての市の考え方を伺う。

答 個別の申し出や申請に基づき、道路としての機能の有無などを検討し、支障がないものは用途廃止を行い、売り払いや、つけかえなどの処分を行っている。今後も、個々の実態を精査し、用途廃止を行っても支

障がない道路については、処分していきたい。

### 通学路における学童の安全対策について

問 通学路における危険箇所についてどのような現状認識を持って対策を協議しているのか伺う。

答 関係各課と安全対策に関する会議を定期的開催している。具体的には各学校別の通学路における危険箇所や整備状況の確認、交通指導員の配置、不審者発生事案への対応、通学路巡回パトロールの実施などについて協議し、情報の共有化を図っている。

### その他の質問

◇歩車道の分離帯がない道路にガードレールの設置やグリーンベルト等の対策について



足立 清 議員

公明党久喜市議会議員団

図書館に雑誌スポンサー制度導入を提案

問 雑誌スポンサー制度は、図書館のブックカバーに企業の広告を掲載するかわりに、その雑誌の代金を広告主が負担する制度である。久喜市には中央図書館と菖蒲、鷲宮図書館、それに栗橋文化会館図書室がある。年間の来館者数は、平成24年度総数で41万5,900人余りの方が来館をされている。雑誌へ掲載するPR



効果は大きいと考える。雑誌スポンサー制度を導入すべきだが、市の見解を伺う。

答 雑誌スポンサー制度は図書館にとりまして、雑誌のタイトル数をふやすことができるという点、また、経費の節減ができるという点において効果があるものと考えている。26年度の早い時期に要綱を作成して、できれば26年度の後半に試行したいと考えている。

問 久喜宮代衛生組合が策定した一般廃棄物ごみ処理計画には、全戸を対象としたごみの戸別収集などの新たな収集方法について検討している。モデル地域を選定し実施すべきだが、市の考えを伺う。

答 本市では、今後さらなる高齢化の進行や要介護者の増加など社会情勢の変化の中で、ごみの排出方法や効率的な収集方法などはさまざまな角度から検討が必要であり、戸別収集もその選択肢の一つであると認識している。今後衛生組合と協議する。

井上 忠昭 議員

飛 翔

医療問題について

問 久喜市で、済生会栗橋病院地域救急センターが第3次救急・救命救急センター化されるまでに越えなければならない課題や、救急搬送体制見直し等について、これまで繰り返し議会の場で久喜市として出来ることにしっかり取り組んでほしい旨主張してきた。今回、合わせて取り上げた「とねっと」や「医療啓発」の質問についても言えるが、ある程度の数値目標や計画性、継続性を持って取り組んで頂き、医療連携が機能して、救急体制が効率よく回っていくよう、市にはその重要な課題の牽引役となってほしい。久喜市の医療に対する方針や考えを示して頂きたい。

答 本市が抱える医療に関する課題は、救急医療をはじめ、多岐に渡っていると認識している。こうした課題は複雑かつ多様であり、すべて市で解決することは困難であるため、さまざまな団体や組織の協力を得て、あるいは参加する組織を通じて解決を図っていくものも多く、迅速な課題解決が難しいところでもある。しかし、市民の皆様にとって、安心・安全の重要な生活基盤でもある医療を後退させず、さらに充実したものにしていくために、これらの課題に対し、一歩ずつ着実に取り組んでいくことが重要と認識している。課題ごとに整理をし、方向性を見極めていきたい。



市議会をインターネットで!



市議会の本会議をインターネット中継します。また、録画もご覧いただけます。



インターネット中継 閲覧件数 (平成26年1月~3月利用分)

月	ライブ映像閲覧件数	録画閲覧件数
1	10件	205件
2	2,061件	707件
3	395件	367件

久喜市議会のホームページからリンクしています。  
<http://www.city.kuki.lg.jp/section/gikai/gikai.html>

# 委員会

2月定例会では、28件の議案がそれぞれ所管の委員会に付託され、審査が行われました。

## 予算決算常任委員会

- 平成 25 年度久喜市一般会計補正予算 (第 6 号) について 原案可決
- 平成 26 年度久喜市一般会計予算について 原案可決
- 平成 25 年度久喜市一般会計補正予算 (第 7 号) について 原案可決
- 平成 26 年度久喜市一般会計補正予算 (第 1 号) について 原案可決

## 総務財政市民常任委員会

- 平成 26 年度久喜市土地取得特別会計予算について 原案可決
- 久喜市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 原案可決
- 財産の取得について 原案可決
- 埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について 原案可決

## 福祉健康常任委員会

- 平成 25 年度久喜市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号) について 原案可決
- 平成 25 年度久喜市介護保険特別会計補正予算 (第 3 号) について 原案可決
- 平成 25 年度久喜市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 3 号) について 原案可決
- 平成 26 年度久喜市国民健康保険特別会計予算について 原案可決
- 平成 26 年度久喜市介護保険特別会計予算について 原案可決
- 平成 26 年度久喜市後期高齢者医療特別会計予算について 原案可決

## 建設上下水道常任委員会

- 平成 25 年度久喜市下水道事業特別会計補正予算 (第 3 号) について 原案可決
- 平成 25 年度久喜市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 3 号) について 原案可決
- 平成 25 年度久喜市土地区画整理事業特別会計補正予算 (第 2 号) について 原案可決
- 平成 26 年度久喜市下水道事業特別会計予算について 原案可決
- 平成 26 年度久喜市農業集落排水事業特別会計予算について 原案可決
- 平成 26 年度久喜市土地区画整理事業特別会計予算について 原案可決
- 平成 26 年度久喜市水道事業会計予算について 原案可決
- 久喜市手数料条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例 原案可決
- 久喜市建築審査会条例の一部を改正する条例 原案可決
- 路線の認定について 原案可決
- 路線の廃止について 原案可決

## 教育環境常任委員会

- 久喜市社会教育委員条例の一部を改正する条例 原案可決
- 久喜市立体育施設条例の一部を改正する条例 原案可決
- 久喜市栗橋 B & G 海洋センター条例の一部を改正する条例 原案可決



# 友好都市青森県野辺地町議会が 久喜市に視察に来訪されました。



平成 26 年 1 月 21 日に、久喜市と友好都市を締結している青森県野辺地町の町議会が久喜市に行政視察のため来訪されました。

当日は、委員会室で久喜市の概要説明、議場見学の後、各総合支所や本多静六記念館等を視察しました。その後、久喜市役所に戻り、久喜市議会議員との懇談会を行い、意見交換しました。

久喜市の概要説明の様子



議場内見学の様子



市内見学の様子（本多静六記念館）



議員懇談会の様子



## 意見書

●特定秘密保護法の廃止を求める意見書

### ◆議会傍聴者等集計表◆

(平成26年2月定例会)

#### 本会議

期日	内容	一般傍聴者数
平成26年2月3日	委員長報告、議案上程	2人
平成26年2月11日	代表質問	19人
平成26年2月12日	市政に対する質問	16人
平成26年2月13日	市政に対する質問	15人
平成26年2月17日	市政に対する質問	25人
平成26年2月18日	市政に対する質問	39人
平成26年2月20日	議案質疑、議員提出議案上程、委員会付託	2人
平成26年3月6日	委員長報告、議員提出議案質疑、討論・採決、閉会中の継続審査	6人
計		124人

#### 委員会等

期日	内容	一般傍聴者数
平成26年2月11日	議会運営委員会	2人
平成26年2月13日	議会運営委員会	0人
	議会運営委員会	0人
平成26年2月20日	議会運営委員会	0人
	予算決算常任委員会	0人
平成26年2月21日	総務財政市民常任委員会	0人
	総務財政市民分科会(予算決算)	0人
平成26年2月24日	福祉健康常任委員会	1人
	福祉健康分科会(予算決算)	0人
平成26年2月26日	建設上下水道常任委員会	1人
	建設上下水道分科会(予算決算)	0人
平成26年2月27日	教育環境常任委員会	0人
	教育環境分科会(予算決算)	0人
平成26年3月6日	予算決算常任委員会	2人
	議会運営委員会	1人
計		7人

### 議会を傍聴してみませんか



- 市議会は皆さんが自由に傍聴できます。  
本会議 定員 50人  
常任委員会、議会運営委員会、代表者会議、全員協議会、定員 15人
- 手話通訳をご希望の方は、事前にお申し込みください(日程等については、ご相談に応じます)。
- 問合せ 議会事務局  
TEL 0480-22-1111  
議会傍聴に関すること(内線 5111、5114)  
手話通訳に関すること(内線 5112、5113)  
FAX 0480-21-6061
- 議会のホームページでも傍聴についてご案内しています。

### 議会の詳細は「会議録」で



議員の発言内容を詳しくお知りになりたい方は、市役所(議会事務局)、各総合支所、市立図書館、公文書館で「会議録」が閲覧できます。また議会のホームページからも「会議録」の検索・閲覧ができます。ぜひご利用ください。

なお、2月定例会の会議録は校正事務の都合上、閲覧・ホームページへの掲載は、5月15日(予定)になります。

### 編集後記

3月2日(日)に菖蒲地域で行われていた“しょうぶ健康ウォーク”が今年で最後となるかも知れません。地域の皆さんが協力し合い行ってきた行事がなくなるということは非常に残念です。

今期、このメンバーで作成にあたった議会だよりが最後となります。皆さんに読みやすく、親しまれる議会だよりとな

るよう、広報委員一同努力してまいりました。表紙の写真は各地域での行事や珍しいものなどを二人一組で写真に収めました。これからも皆さんに愛される議会だよりを目指してまいりたいと思います。ご意見・ご要望がございましたら議会広報委員会までお寄せ下さい。

(盛永)

### 広報委員会委員

◎齋藤 広子 ○園部 茂雄  
石田 利春 井上 忠昭  
大谷 和子 田村 栄子  
並木 隆一 盛永 圭子  
内田 正 鎌田 忠保  
岡崎 克巳

(◎委員長 ○副委員長)